

求身抄

求身折

一 足踏ノ変 脚ヲ真直ニシテ足ヲ八字字ニ踏ヘシ

両足ノ間ノ廣サハ杖 矢束ノタケホドニ踏開

ヘシ狭キニ思ミ廣過タルモ思ミ

一 膝ハイカニモ伸シテ杖ヲ立タル如クスヘシ膝ヲ

折リ屈ルハ思ミ

一 腰ノ変イカニモ右ノ力エヒ子ルヘシ如此スレハ腰ニ

マル也 腰ヲケタルハ思ミ

一 押手ノ変左ノ肩ハラトスヘシ 廿三肩ヲルハ思ミ

入肩ナルモ悪シ弓手ノニノ腕ヲフセヘシ弓引時

外致

二ノ腕ニカラ入ヘシ弓握タル手クヒ内エモ引

ニモ折タルハ悪シ直ニ弓ヲ押スヘシ大指人

サミ指ノ岐ニテ弓ヲ押也手ノヒラニテ押

スハ悪シ

一 <sup>カウ</sup> 前手ノ変右ノ肩ハサミ肩ニシテ肩ノ上ノ

丸ミヲ前ヘヒ子リ向ケヘシ右ノ肩落タルハ

悪シ夫答ヲトル変大指ト人サミ指ノ間ニ答

ヲ扶ミテ引也人サミ中指ハ大指ノ頭ニツツヒ

カケ置タルハヤリ也弓ヲ引時ハ臂ニカヲ入リ

臂ニ手引ヘシ手クビニテ引タハ悪シ引ク時臂

尻ヲ段々ミ下ケテ背ノ方エ引廻セハ矢束

ヨク引ル也ヒチシリナ立ツハ悪シ筈ヲ持

タル手ハ手ノ裏ヲ内ニ向ヘシ外ニ向ルハ悪

シ引付テコフシラハ肩ノ上ニ置ヘシコフシ

肩ニテ引付ルハ他流ニウケル

ラ肩ニ付ルト付ル度ナラ正レキノ二品アリ

筋キウヤル丁ノ下余下見タリ

人ノ骨節ノ生レツキ又ハ肥タル骨ノ瘦タル骨

ニヨリ違アリ二品ノ内何レニテモ臂タニ能

シニレハヨキ也

一頭ハ踵ヲ肩ノ上ニ置テ的ノ方ニ真向ニナル

心ニテヨシ仰タルモ伏タルモ十ゲタルモソリ

タルモ悪シ真ニスヘシ

一目的ライカニモ子ヲマシゲニ見入テ餘念

ナキヲヨシトス

一氣ノ夏足ヲフミ定ルヨリ氣ヲ臍下ニ鎮メ

テ氣ヲ張ルヘシ氣ヲ張カレ身ノ内弱ク

テ勢ナクミダリナクテ悪シ氣ヲ張ルトハ

息ヲツメル丁ニテハナシ氣ヲ滿シムル也

一矢擣ノ度矢ヲツガフニハ腕ヲ伸ズ屈ス

乳ノ通ニテツガフベシ弓ノウラ伏過レハ見

苦シ矢カサヘ前ユヨリ過レハ片ヲ上ニテル也

能程ニカマヘテキツト的ヲ見テ其顔持テ

ホ上ヘシ

一打上ノ度烟ノ立上ル如クニスヘシホ上ニテ諸

ホ上ノ指立ニホ上起シトハ騎射ニ至ニ  
他亦ニ考立  
ニホ上起シ云

ホ上ヲ好ヘシ片ヲ上ニ惡シ諸ヲホ上ニテハ

キツリ合テ同様ニホ上ニ也片ヲ上ニハ弓

故実ニムカヘリ

胸部ヨイ事ノヤ糸ニ見ヨリ

手ヲ上テ馬キハ下ル也 諸キ上ハ引ヲロスニ

ヨキ也序キ上ハ引下スニ悪キ也キ上ル時キ上

ルニツレテ腹ノ引コム度アリ悪シキ氣ヲ満スルハ

氣ヲ滿スルハ腹ノ引ヲロマテ

腹引コム度ナシ又キ上ル時頭ヲ前エナゲ

スル度アリ悪シ

一引ヲロス度大鳥ノ羽ヲヒロゲテヲリ下ル如

クニスヘシ左右ノキツリ合テユルクト滞

ナクキ上テ引ヲロスヘシ類ノ通りニ引

キヲ引ヲロステコフシヲ肩ニ付ル也又肩

他添引和云

ニ付ル下ナラズ有ノ上ニアルモアリ何レ  
モヒケダニシレハヨキ也

一ヒカヘノ夏是ハ引テタモツ夏也押テ

他流ニクモヤト

ムカテテチキノヒギ尾ニカテ夏レツリ合

テ面方ヲ能調ルタメニタモツ也猥ニ久

シクタモツニアラス余リ久クタモツ過

タルハ悪シ又余リ早ク放モ悪シ程位ハ

切ラ積テ獨知ヘシ

一矢所ノ夏是ハ的ヲ子ヲテ夏也遠クモ



近クモ的ニアテカフヘシ先打上ル時コトニシテ  
的ヲワリ引付テハ拳ノ上弦ノ内弓ノ外  
カトヨリ的ヲ見ヘシ扱目付処ハウシロメ下也  
近ヤ物ヲハ的ヲハツシテウシロノ下ニす下ケテ  
ニキリ上六寸ヨリ見テ放ヘシ如此云ヲ悪ク  
心得テ二目ツカヒ出來コトアリ悪キコトナリ  
拳ノ上ト云モ弓ノ内カト外カト、云モ自然  
ニ押アテカフ時見エルトナルヲ一度此クセ  
付マレハ直リサヌルコトアリ

一放ノ度押手ノ腕筋手ノ臂シリモカズ

ハヤキトスルトキ  
左右ノ手ヲ百スト  
トキトテ引テ

トクリト西方ツリ合セテ引カタメテ扱ソツト

ツイ合ニシテ  
ナカキリツトハ  
ヤスヤリ此一

放スヘシ如此ハナセハ矢処アヤメズ矢構ヨ

ニシテムニテ  
放シエヨヤカセ

リ打上引テ口シヒカヘニテ能調タリトモ

ハ九分引ニテ  
放ヘ三十分ニテ

放ヤウ悪ケレハ矢処大三違フ也世レハ大

過レハ却テ  
矢口ト下ノ

放ラ至極大度ノ手ト云ヘリ放ヤウ悪トハ大

ケ余惣テ  
先ケガトモ  
引ニシタリ

放小放送りハナニ等也此度左ニ見タリ

一大放ノ度是ハアラケナク放ス度也是ハ臂ニ

力入ラスシテ腕クヒニハカリ力入タルニ依

テ我カハマケテ弓ノ力ニサレシ隨テ放スニハ

ラク放レテ矢ハ高く行ク也臂ニ力ヲ入テ引カタ

ムテソツトハナスヘシ

一 小放ノ度是ハ押手勝手ヲ引カタム不調ニ

シテソツトハナス故矢勢弱ク落ル也押手ナリ

キヲツリ合セヨク引カタムテ扱ソツトハナス

ヘキ也

一 送り放ノ度二區アリ放サントスルトキ射手ノ

送ハナシト  
ツケハナシト云  
拳ヲ弓手ノ方ヘ送りナカラ放スモアリ又放

テ後筋キノコフミヲ弓キノ方エ送ルモアリキ  
我力ニ勝タル弓ヨリ起タルクセナリヨクキ弓

ニテ押手筋キヲツリ合引カタメテ射直スヘシキ

一ユルス度引コミテ放サシトスル時エルム也

是ハ矢束ヲ引スゴスヨリ起ル也聲ニカ入レ

ス腕ノヒカリニテ引ク故静ニ放ス度ナラ

ス放サシトスル時其アテカヒヲ始テスル程

ニ筋キユルニル也是又弱キ弓ニテ射直スヘシ

一能アテカヒニレ氏矢外サテノ邊度ハ皆押手

射手ノカツリ合ズリロハサル故也又西方ツ  
リ合タリモ放ヤウ悪レハ皆違フ也

一矢前エ行ハ押手ノカ邊テ射手ノカタラザレ  
故也又弓ノ本ハスノ方仰タル故也又身ノ内  
ヨウケレハ前ヘエク也是氣ヲ張ラヌ又右ノ  
ヒサ引コメハ前ニ行也又矢細キ故也

一矢後エ行更第一押手ノ肩根出ヌキ射手ノ臂  
口ウキカゴヘヨリ手サキ後付也又弓ノウラ  
ハスノ方フセハウシロヘエクナリ

射手ノカツリ合ズリロハサル故也又西方ツ  
リ合タリモ放ヤウ悪レハ皆違フ也

一、矢高ク行ク又弓キノ肩根ヲレ過中クホキルハ  
矢高ク行ク又弓キノ肩根サシ引テキアル  
モ高ク行ク又弓キ引下ケタルモ高クユク又  
放アラセ高ク行也

一、矢ヒキク落ル又引カタルコト不显ナレハ  
落ル也亦射クバノバ矢落ル又弓キヨリツ  
ヨクハナレキ先ニナフシヨリ肩ニテキナク  
ルニ有レバ落ル又シメサカリ也引口ニ早ク  
手サキスワルモ落ルナリ

一 箭ヲエルギフル矢ノ度是ハ前手ヨリハナル、

エヘナリ

一 ラヨク矢ノ事是ハ手サキヨリニナル故也

一 何トモ矢イロアルハカ矢ハ子レト知ヘシ是ハ

カケワタシニ矢サキ少下リタルカヨシトナリ

一 矢ヨクキ度十分ニ引過タル故也八九分ノ

内ニハナスヘシトナリ

一 矢ヲクラ近キ度是ハ放ス時勝手ツヨク

一 手先ハコウヲヨリイウキツニアクルエヘ也

一ハヤケノ夏筈一小引ケナルユヘ也第二ウニ口

浮キ立ユヘ也第三川手下タル故也第四矢筈

ヲトルニカケクナアサキ故也第五弦遠キ故也

又我力ニ勝タルツヨキ弓引ヨリ起ルナリ

二手ノ内大指ノ根マク事イカニモ手ノ内ヤウラ

カニ握ラセタケタカ指ヲトリカクスヤウ

ニ可射也

一左ノ肩サシ肩ニナル射キノ夏長ハ手サキ

ヲ高ク足ヲ廣ク左ノ腰ヲ右ヘヒクヤウニ可



射

一 右ノ肩根折タル射手ハカゴヘヨリ肩クニ心

ヲ付テキトカタヲサシカケヘミサシカタナル

射手ウラヲモテニナスヘシ

一 肩骨出肩ヲ折事第一弓立カタ子ハヤクヲ

サレルユヘ也是ハ右ノ足ヲ前ヘラミ出シ弓ヲ

フセカケテ付テ可射

一 弓トリ落ス度善悪也其故ハ放レ無念無

想ナレバナツキカサル故也サヤウナルハ我方ヨリ

弓返スルヤウニシテヨシ又ハ手ノ内強スキタル  
ト知ヘシ

一二重押ノ度弓ヲ引ク時押キヲ二度ニ押ス也此  
クセハ握ト折キ手ノ手ノ内カタキエヘナリ

ツケハナレエルニル度第一引口<sup>キ</sup>シタ<sup>キ</sup>ハ強キ故  
也イカニモ心ヲシツメヒカヌ矢束ノ心モナシテ手  
クビヨリハナサズヒケクヨリ放セウニ射ヘシ

一ム子<sup>ニ</sup>エセキカケタルシキ射手ノ度是ハ腰ノ  
折レ過タル故也又ハヒキノキ肩サシタル故ト

知ルヘシ

一弓ヲ射カツク度是ハ第一引ノキアルヘシ放レギ

ハシメサゲウハスヂヨハキ故ナリ

一射クバミアル射手ノ度此クセハハナルトキ

射ノキアルヤウニ可射イックバミハ片拍子

手先斗ツヨキ故也

一肩サシニノブシ高キ度矢カテヘノトキヨリ

二ノフシヲフセテ手高ク矢束ノ心持ニ射ヘシ

一押手ノ小ウテラナクル度是ハ手先ハカリ強ク

シテ又ヨロキ也其故ハ二ノフシタルミヲシ  
カケハツヨキ故也

一 手ヲ折ツ度第一弓ヲニキル手ノ内アサキ

故也手ノ内浅キトハ弓ヲ人サシ指大指ノ岐へ  
深ク入レス指サキニテ弓ヲニキリ手ノヒラ

ニテ弓ヲオシ手クヒクシ口へ折レ腕ヲヘエノ  
ラスル故手ヲ折也又ハ緩ミケト知ヘシユルム

処ハフシヨリ肩子ニテユルム也又シメサガ  
リモナルヘシ

一射ハナレテカケムスブ 度是ハ放サントスル時  
カケクキムスヒタル物ノトケガルヤウニテ  
放シカタキ也此々セハカケクキニテ  
手クヒノカニテ引テハナスユヘナリイカニ  
モカケラ和ラゲヒギノカニテ引カタメ臂  
切ニ射ヘシ

一手サキマタル、度是ハ弓持タル手ウシロノ  
方ヘ少仰クヲ云手先ノ足ウキ立故也左ノ  
足ニカラ入レ少腰ノ屈ムヤウニ射ヘシ

一前ヲシスル<sup>ト</sup>放テ後弓ヲ向ヘ押出スクセ也  
是ハワサト弓カヘリラスル故也ヒギキリニ  
日モ三日モ射ヘシ弓返セヌ心ニテ射ヘシ

一ユツク<sup>ト</sup>放テ後杵ヲ以テ物ヲユツクヤウニ  
押手ヲユツク也是ワサト弓返スル故也強ク  
弓ヲ握リ左右ノ腕ノカヲ揃ヘ弓返ラセヌ  
心ニテ射直スヘシ

一思ノ外力ナキ<sup>ト</sup>是ハ矢構ヨリ引付テ余  
リ強過タル故ナリ

一 押手ノ肩ヲ千入肩ナル射手ノ度是ハカニハ

ヨリニノフシテフセ肩子ヲ高クイセカケ左右

ヲツリ合引ヘシタトヘ肩入カ、リタリ尺矢

ツヨカルヘシ

ハナレヨロキ度馬手ノヒナニカヲ入レモグヘシ

一 地立ノヨハキ度右ノ足ヲ一文字ニツクミツクミ指ニ

テエラカ、ヘ弓手ノ膝ヲ少前ヘタハメム子ヲス

クニ立テ腰ヲ前へ出シム子ヲ入テ射ヘシ

一 頭持ノ悪キ度右ノ目頭ニテ弓手ノ目頭ヲ見

テ射へ

一引ノク度是ハ弓引クニ右ノ方ヘカクムキ引也  
強弓ヨリ起ルクセ也弱弓ニテ少射クムヤウ

ニシテ引ヘシ

引トリスル度是ハウシロヘソル也氣ヲ張ルト

云フヲ惡ク心得テ息ヲツメテ引コム故也

一膂ノク度是ハ膂ヲ左ノ方ヘヒ子ル也惡シ右  
ノ方ヘコシラヒ子リ射ヘシ

一肩ヲヨスル度西方ノ肩ヲサシカケテヨスル



也強弓ニ肩ヲ引ヨセテレタル也弱弓ニテ射直スヘシ

一放レ煩フ莫左右ノ心相子ト氣ト揃サルニ依テ也油断ヨリ起リ且ハ心得ヤウ悪クナラシイニ矢処ヲアテカヒ押手前手ニカヲ入ルナト云テ一念ノ調ハスミテタメラフ故ナリ

一二目ツカヒノ莫的ヲ見ルニ矢処ヲ簡スルナト、テ的ノアタコナタヲ見テ目付ノ定サル也正理ヲ專トシテ心ヲ以テ直スヘシ

一 押手ヲ押得サル是強キ弓ヲ好テ弓我カ

ニ勝ツ故押手ノビサルヨリ起ルクセ也弱弓ニテ

先逝キ物ヲ射テ射直スヘシ

一 箭手ツカガボル是ハアチカキ嫌ヘカラス能ツ

カンニ於テハ云ニ不可及タトヘ箭手ハツカスト

イヘトモ腕クヒ斗ニテ押付タラシハイタツラ

一 度ニテ矢処モ違ヘシ矢色モ悪カルヘシ

一 胴根ヨハキ是是氣ノ滿サル故也

一 弦遠キ是是ハ弦ト身ノ間遠キ也是ハカケ

一 大エヒノ根ヨクカケテカケノコウテ上ス子

タルムエヘナリ

一 弓ノ力クセハ皆我カニ勝タルツヨクヲ好ムヨ

リ起ルセ弓ノカニ引立テレテ我身ノ固ノヲ

トリ崩ス故ニサテクノクセ起ル也ト古人ハ云ヘ

リ弓ノクセラ直サントナラハ我カニ自由ニ引

ル、弓ヲ以テ心ニ我身ノ固メヲ調ヘテ射

直スヘシ

一 弓モアシ身モシツミ引ワタシロクナル射手ハ

矢ツヨク徳多シ然レ矢數ナトニハ嫌也

一 総ニテ矢ヲサニハ引シメ八分九分ニ放スヘシ八  
分九分十分ニアテリ放ル、モノ也ヨククタン  
レシアルヘシ引コシシメキハツヨキモ十分成  
ヘシ是ハ心ハヤ立チユルシケニナル也アト  
ニ心ヲノコシ矢ツカヒケヌト思フウチニ  
ハナシテヨシ

一 弓ハ弓強ハツル矢ハ矢トイル莫本儀也其  
故ハ手ノ内ツヨキハ弓ニテハナシツルニ強クア

タルモ 弦ニテハナシ 又矢筈ヲツヨクシメルモ

一 矢ニテハナシ 此心万弓ニヨシ 秘説也

一 誓古ニツキ 禁度

第一 弓ノカスギタルニテ射ベカラス

第二 誓古ノ片勝負射ヘカラス

第三 酒ニ酔テ射ヘカラス

第四 十ハサツエタル片射ヘカラス

第五 物クサキ時射ヘカラス

第六 急ニシテ射ヘカラス

第七 スキニテ射ヘカラス

第八 射ル時タハフルヘカラス

第九 槌ウツヘカラス

第十 塚事犯スヘカラス

一 弓カマヘニカケノウテクヒラル、夏カケク子  
ヲ和ラケヒ子ク子ニ心ヲ付カケノ大ユヒラ上  
ルヤウニ可射ナリ

駿

五  
學射而未熟幸家傳有射藝  
之書然亦出才播爰收要書以爲  
一冊有之於中亦名且善讀誦初以爲  
射藝多此一物耳

寶曆十一年辛巳六月十九日伊勢守松尾運五書

天化十二年乙亥四月七日

松尾運五布至伍寫